

令和3事業年度

決 算 報 告 書

自：令和3年4月1日

至：令和4年3月31日

国立大学法人熊本大学

令和3年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,149	14,062	△ 86	(注1)
施設整備費補助金	1,516	1,294	△ 221	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	981	3,113	2,132	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	—	
自己収入	36,641	38,994	2,353	
授業料、入学金及び検定料収入	5,928	5,399	△ 528	(注4)
附属病院収入	29,854	32,713	2,859	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	859	881	22	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,173	6,360	1,187	(注7)
引当金取崩	—	24	24	(注8)
長期借入金収入	334	290	△ 43	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,350	1,500	150	(注10)
計	60,182	65,679	5,497	
支出				
業務費	49,457	49,283	△ 173	
教育研究経費	18,920	17,902	△ 1,017	(注11)
診療経費	30,537	31,380	843	(注12)
施設整備費	1,888	1,623	△ 264	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	981	2,725	1,744	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,173	5,949	776	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	2,683	2,675	△ 7	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	60,182	62,257	2,075	
収入-支出	—	3,422	3,422	

○予算と決算の差異について

- (注1) 特殊要因運営費交付金等の繰越のため、予算額に比して決算額が86百万円少額となっています。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が221百万円少額となっています。
- (注3) 新型コロナウイルス感染症関連の補助金獲得により、予算額に比して決算額が2,132百万円多額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免交付金が388百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料徴収対象者数の減に伴う授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が528百万円少額となっています。
- (注5) 受入患者の増加や病床稼働率の向上等により、予算額に比して2,859百万円多額となっています。
- (注6) 自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注7) 受託研究費等の受入増により、予算額に比して決算額が1,187百万円多額となっています。
- (注8) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が24百万円多額となっています。
- (注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が43百万円少額となっています。
- (注10) 事業計画の変更により、予算額に比して決算額が150百万円多額となっています。
- (注11) 経費節減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,017百万円少額となっています。
- (注12) 医療費等の増加により、予算額に比して決算額が843百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が264百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,744百万円多額となっています。
- (注15) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が776百万円多額となっています。
- (注16) 利息の変更等により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。